

「石岡の医療を考える会」報告

皆様ありがとうございました。

今般の署名活動に際し、多くの皆様のご協力を頂き感謝申し上げます。

令和3年2月2日現在での署名数は15,428名あり、池田議長へお届けすることが出来ました。石岡市の議会事務局が精査した結果、2月4日に15,119名分が受理されました。

さらに署名活動は続いており、令和3年2月末時点で2,220名が追加され、合計17,648名分を3月1日、議会事務局にとどけることが出来ました。

皆様のご協力に感謝いたします。

[請願内容]

石岡市が進めようとしている「医療計画」によって、休日・夜間緊急診療の確保、産科の設置、小児科の充実が実現可能であるか、石岡市の財政負担については適切であるか等、調査をお願いいたします。

〈石岡市教育福祉環境委員会議事録より〉

1/29（金）教育福祉環境委員会（7名）

10:00～

地域医療振興協会からの提案：産科・小児科・緊急医療を行う。

市から、医療スタッフ159名増員：年間運営費6000万円等が委員に報告されました。

2/5（火）教育福祉環境委員会

11:40～

地域医療振興協会より原案取り下げ。

詳しくは「全員協議会で市長が報告」とのことでした。

2/5（火）市議会議員全員による全員協議会

13:30～

谷島市長より上記の取り下げについて説明がありました。

[医療を考える会は地域医療振興協会へ]

2月9日（火）地域医療振興協会（東京）へ出向き会談。（14:40～15:40）
〈出席メンバー〉

国会議員：国光あやの

石岡市議会議員：櫻井信幸、大和田寛樹、

石岡の医療を考える会：鈴木清、菊地善衛、塚田尚

地域医療振興協会：吉新通康（理事長）、原山和巳（理事・事務局長）

岡本靖（企画調査部・部長）

[会談内容]

地域医療振興協会としては、昨年まで石岡市に数々の提案をした（赤字が発生しても負担はいただかないという協定書、令和2年8月頃）が、市からは何の回答も頂けなかった。医師会病院のスタッフもいなくなり、地域医療振興協会は石岡市に対し、「当初、市から提案いただいた状況が大きく変わってしまったので、一旦取り下げたい」と申し入れがあった。

ただし、「石岡市には我々の石岡第一病院も有り、石岡市から要請があればいつでも協力します」と、理事長がこの席上で申し出てくれました。

〈令和3年第一回石岡市議会定例会報告より〉 3.18

【委員長報告の要旨】

委員からは「趣旨に賛成。ただ、医療計画という部分は、取下げとなった石岡地域医療計画ではなく、今後調査した結果、新たにできるであろう医療計画という意味であれば、賛成」などの意見がありました。

〈市長提出議案の議案第48号より〉

副市長の選任につき同意を求めることについて

市政の円滑な推進を図るため、田所和弘氏（水戸市）を本市副市長に選任することについて、議会の同意を求める。同意（3. 3. 18）

[今後の石岡の医療を考える会の活動]

公設民営化、民間病院等での運営など、市民にとって一番良い方法を、市民と議員が共に考えていきたいと思えます。

今後も石岡の医療を考える会としては、請願事項が達成できるよう活動してまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

石岡の医療を考える会

発起人代表

市村 寿男 石岡市小見 499

他発起人一同より

連絡先

石岡の医療を考える会事務局

石岡市瓦谷 1017

電話 090-6523-4760

塚田